

## 第 4 3 5 回 役 員 会 議 事 要 録

1. 日 時 平成 2 9 年 7 月 3 1 日 ( 月 ) 自 1 3 時 3 0 分 至 1 4 時 2 5 分
2. 場 所 学 長 室
3. 出席者 中井学長、中田理事・副学長、三浦理事・副学長、小沢理事・副学長、  
若井理事・事務局長  
【オブザーバー出席】真田副学長、千葉副学長、上井監事、橋本監事
4. 欠席者 なし
5. 審議事項
  - ( 1 ) 当面の入試改革方針について 資料 1
  - ( 2 ) マクマスター大学 ( カナダ ) との学術交流協定締結について 資料 2
  - ( 3 ) 文藻外語大学 ( 台湾 ) との大学間交流協定締結について 資料 3
6. 報告事項
  - ( 1 ) 平成 2 9 年度内部監査基本計画について 資料 4
  - ( 2 ) その他

### 【確認事項】

第 4 3 4 回役員会議事要録を原案のとおり確認した。

### 【審議事項】

#### ( 1 ) 当面の入試改革方針について

真田副学長より標記について提案があり、資料 1 に基づき、平成 2 9 年度中に行う入試改革の方針として、新しい 3 ポリシー作成の一環として新たなアドミッションポリシーの作成に着手すること、その前提として全学的に統一した作問体制を今年度中に構築すること、具体的には、各学類で入試問題作成を完結するという慣例を変え、全学的な体制で問題作成を行うという一般的な方向性を確認すること、具体的問題作成の在り方については分野ごとの具体的事情を踏まえて検討すること等の説明があった。  
審議の結果、原案のとおり承認され、今後の手続きとして、教育研究評議会の議を経ることが確認された。

#### ( 2 ) マクマスター大学 ( カナダ ) との学術交流協定締結について

真田副学長より標記について提案があり、資料 2 に基づき、マクマスター大学の概要、協定締結に至る経緯、今後の学生交流協定締結に向けた取り組みとして Fukushima Ambassadors Program に学生を受け入れること、協定締結形態として部局大学間協定とすること及びその理由、協定書の内容等について説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認され、今後の手続きとして、教育研究評議会に報告す

ることが確認された。

(3) 文藻外語大学(台湾)との大学間交流協定締結について

真田副学長より標記について提案があり、資料3に基づき、文藻外語大学の概要、交流目的、期待される効果として受入・派遣の双方向の学生交流が可能となること、また、外国語教育面での研究交流が期待されること、その他特記事項として、文藻外語大学ではボランティア学習にも力をいれていること等の説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認され、今後の手続きとして、教育研究評議会に報告することが確認された。

【報告事項】

(1) 平成29年度内部監査基本計画について

監査室長より標記について報告があり、資料4に基づき、平成29年度内部監査基本計画における監査の方針、被監査部局名、監査の内容、監査項目として 外部資金の経理、 寄附金等の経理、 情報セキュリティの状況、個人情報漏洩、 排水廃液等の管理を掲げていること等の説明があった。

本議題は、運営会議に報告することが確認された。

(2) その他

なし。